

「成長の足跡」

仙台市立仙台工業高等学校定時制課程

機械科四年 東 泰生

私は人見知りの激しい性格のため、中学時代は人と関わるのがとても苦手でした。その性格はなかなか克服できず、あまり登校することができなかつたので、授業や学校行事にはほとんど参加できませんでした。その状況は卒業まで続いたため、時折、将来への不安を感じると同時に自分自身に対してすっかり自信を失ってしまいました。高校進学の進路についても随分悩み、家族と相談しました。結論として、仙台工業高校定時制に入学することを決めました。志望した理由は、全日制とは全く異なる新たな環境で、自分自身を変えたいと思ったからです。振り返るとその決断は正しく、入学後の生活や今後の人生に大きく影響するきっかけとなりました。

私が高校生活で成長できたと感じる点は三つあります。一つ目はアルバイトの経験です。私は入学後一年生のときからヤマト運輸で荷物の仕分けや積み込みのアルバイト

を始めました。生まれて初めて仕事を社会体験であり、全日制高校へ進学していたらできなかった経験です。当初は与えられたノルマをこなすのに精一杯で、失敗もたくさんしてしまいましたが、その都度、先輩社員に励まされ、少しずつやりがいを感じるようになってきました。夢中で仕事に打ち込むうちに、アルバイトリーダーに抜擢され、作業計画を作成したり、後輩に作業の指示をしたりする立場にもなりました。このアルバイトの経験は人見知りだった自分の性格を変化させるきっかけとなり、アルバイトを頑張ることで生活リズムもできて、学校生活に良い影響を与えてくれました。

二つ目は高校生活での学習です。高校で勉強することは当たり前ですが、正直不安しかありませんでした。中学生のときは授業に出席できないことも多かったので、入学後に授業についていけるかどうか、とても不安でした。しかし、まずは「休まない」、「授業に集中する」ことだけを実践して頑張りました。その結果、以前とは比較にならない程の良い成績を取ることができるようになりました。それ

が自信となり、勉強に対して前向きに考えられるようになる
と、工業高校で学んでいる特色を生かすために、資格取
得にも挑戦する気持ちが芽生えました。どの資格も簡単に

はありませんでしたが、合格を目指して、毎日、放課後や
自宅で数時間勉強しました。しかしながら、勉強量が多い
し、日々のアルバイトで疲れていたこともあり、私にとっ
てもつらく、苦しい時間でした。しかし先生方の力も
借りて、その苦しさを乗り越えて合格したときの喜びは言
葉には表せません。努力は頑張った分報われると思った瞬
間でした。

三つ目は部活動です。私は元々バドミントン部でしたが、
中学生のときには、中途半端に終わってしまったので、高
校では頑張ろうと思っていました。入部したときの仲間に
も恵まれて、二年次、三年次と二年連続で定通全国大会に
出場することができました。入学前は、全国大会など、考
えもしませんでした。最初はバドミントンを楽しむだけで
満足でしたが、いつしか全国大会目指して必死に羽を追う
自分がいました。バドミントンをしているときは嫌なこと

も忘れられました。みんなで行った神奈川への遠征は一生
忘れることのない思い出です。今は部活の時間が楽しくて
とても充実しています。

以上の三つの大きな経験を積んだことで、私は苦手だっ
た他人との関わりを克服することができ、入学当初には想
像できなかった充実した、本当に有意義な高校生活をおく
ることができています。今は私に多くを与えてくれた仙台
工業高校定時制の生徒であることを誇りに思います。高校
生活を終えるにあたり思うことは、自分は多くのことで良
い結果を得られました。そのようなときに、いつも身近
で励ましてくれる上司や先生そして友人がいました。支え
てくれる家族がいました。どんなときでも温かく見守り、
応援してくれたことを決して忘れません。だから、来年か
らの社会生活では、私は、高校生活で得られた貴重な体験
を生かして、今度は周りの人々を救えるような人間になり
恩返ししたいと強く思います。